

て、既存工場のある米国のケンタッキー州かアリゾナ州（買収した米S D I社の工場）を有力候補とする。品質管理や安全性確保を徹底しながら、世界的な需要増に応えられるだけの供給体制を整備していくことにより、2020年で世界シェア30%の実現を目標としている。

帝人と関西大学、P L A繊維製の圧電ファブリック開発

センサーやアクチュエーター用途に展開

帝人と関西大学は8日、世界で初めて、ポリ乳酸（P L A）繊維製の圧電ファブリックを開発したと発表した。今後、動きと圧力の双方を検出できるセンサー用途や、遠隔操作などのアクチュエーター（駆動体）用途に展開し、早期の事業化を目指す。

圧電ファブリックは、圧電体にP L A繊維、電極に炭素繊維を使用したファブリックで、「平織」「綾織」「サテン」の3タイプをラインアップ。平織タイプは「曲げ」を感知でき、サテンは「ねじり」、綾織は「曲げ」「ねじり」に加え「ずり」や3次元方向を感知できる。関西大学システム理工学部の田實佳郎教授の指導の下、福井県工業技術センターの協力を得て開発した。

帝人と関西大学は今後、さまざまな織り方や編み方により最適な圧電ファブリックの設計に取り組み、着用するだけで精緻な動きのデータ化を実現を目指す。将来はこれをもとに、手術や介護などの遠隔医療、伝統工芸などの職人技の可視化、宇宙開発に至るまで、人の動きを精緻に再現することによりセンシング技術確立し、インターネット上でモノをコントロールする「I o T（インターネット・オブ・シングス）」への活用を狙う。

14～16日に東京ビッグサイトで開催される展示会「第1回ウェアラブルE X P O」で圧電ファブリックを出展する。

住友ゴム、スイスの医療用ゴム部品会社を53億円で買収

住友ゴム工業は8日、医療用ゴム部品事業の拡大のため、スイスのロンストロフホールディングを買収すると発表した。買収金額は4,400万^{スイスフラン}（約53億円）。